






聖書	第一サムエル 1 - 3 章
タイトル	サムエル
教案日付	2015年 2月 1日

項目	イラスト	お話し
I	a 	ハンナは結婚していましたが、まだ子どもがいませんでした。
	b 	ある日、ハンナは神殿に行って、一生懸命お祈りしました。「神様、もし私に男の子が生まれましたら、その子の一生を神様におささげします。」
	c 	神様はハンナの祈りを聞き、やがて男の子が生まれました。その子は、「サムエル」と名付けられました。
II	a 	サムエルは、約束どおり神様に仕えるため、神殿に行きました。ハンナは、サムエルを祭司のエリに預けました。
	b	

項目	イラスト	お話し
Ⅱ c		<p>サムエルは、お父さんやお母さんから離れて、神殿に住みました。そして、神様のために働きました。</p>
Ⅲ a		<p>ある夜、サムエルが寝ていると、「サムエル、サムエル。」と呼ぶ声がしました。それで、サムエルは急いでエリのところに行きました。「エリ先生、私をお呼びになりましたか。」エリは、「いや。私は呼んでいない。部屋に帰って休みなさい。」と言いました。</p>
Ⅲ b		<p>こんなことが三度も起こりました。それで、エリは言いました。「サムエル、あなたを呼んだのは神様だ。今度呼ばれたら、『はい。私はここにおります。どうぞ、お話ください。』と言うのだよ。」</p>
Ⅲ c		<p>こうして、サムエルは神様の声を聞く人になりました。サムエルは、神様のことを人々に伝える「預言者」になったのです。</p>
結論 (適用)		<p>みなさんは、神様の声を聞けると信じますか？神様に心を向けていれば、お祈りや礼拝メッセージだけでなく、お父さん・お母さん・先生や大自然を通して、神様の声を聞くことができます。サムエルとエリも初めは神様の声だと分かりませんでした。が、神様に心を向けたとき、み声を聞くことができました。みなさんも、家族が神様を信じていても、いなくても、自分自身で神様を信じて仕えていくことが大切です。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること